



アドビシステムズ社、 PDF によるコミュニケーションを革新する Adobe Acrobat 9 を発表

PDF ポートフォリオ、Flash Video のネイティブサポートや
リアルタイムコラボレーション機能で、多様な情報の効果的な共有を実現

【2008年6月3日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発(2008年6月2日) Adobe Systems Incorporated (NASDAQ: ADBE) (本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は本日、電子文書の作成と共有プロセスを革新し、PDF による全く新しいコミュニケーション方法を実現する「Adobe® Acrobat® 9」(アドビアクロバット ナイン) を発表しました。Acrobat 9 には、リッチメディアを含むさまざまな種類のコンテンツを、ひとつのコンパクトな PDF ポートフォリオに統合できる機能や、Adobe Flash® のネイティブサポート、Adobe PDF 文書をリアルタイムに共有できるサービスへのアクセスなど、数多くの新機能を搭載するとともにさまざまな機能強化が図られています。

Adobe Acrobat 9 日本語版は、2008年7月上旬より、アドビストア (<http://www.adobe.com/jp/store/>) および全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて提供が開始されます。「Adobe Reader 9」(アドビリーダー ナイン) 日本語版は、7月上旬よりアドビシステムズ社の Web サイト (http://www.adobe.com/go/gntray_dl_get_reader_jp) から無償でダウンロード提供されます。アドビストアでは本日より予約受付を開始します。

Acrobat 9 には、文書やビデオ、音声、3次元データなど、さまざまな種類のコンテンツをひとつのコンパクトな PDF ポートフォリオに統合する新機能が搭載されました。表現力豊かでインパクトのあるテンプレートが用意されているため、ユーザはコンテンツの統合やナビゲーションの設定を短時間で行うことができ、洗練された PDF ポートフォリオを作成できます。また、用途に応じてロゴ、色彩、画像や連絡先情報などをレイアウトすることで、簡単に独自のテンプレートを作成することができるため、説得力のある提案資料、法務文書、製品カタログなどを作成することができます。

Adobe Acrobat 9 では Adobe Flash 技術がサポートされ、Adobe PDF 文書に埋め込まれた Flash Video をユーザーの環境に依存せずに再生することが可能です。Adobe PDF に埋め込まれたコンテンツは、無償の Adobe Reader® 9 さえあれば閲覧が可能であり、静的な文書もダイナミックなコミュニケーションコンテンツとして活用できるようになります。

また、Acrobat 9 では Adobe PDF 文書のリアルタイムコラボレーション機能が搭載されています。この機能は、アドビシステムズ社が無償パブリックベータ版として本日発表した新たなホステッドサービス「Acrobat.com」を使用した機能です。例えば、Acrobat 9 を使って契約文書を顧客に送付した場合、送り手と受領者が Acrobat.com にアクセスすれば、リアルタイムに文書の表示を同期させることができます。送り手と受領者が同じ画面を見ることができるので、効率的な議論を進めることが可能になります。

また、Acrobat 9 では、Acrobat.com を通じてファイルの保存や共有、PDF フォームを利用したデータ収集や処理ができるほか、共有文書レビューでコメントを収集することもできます。

Adobe Acrobat 9 製品ファミリーは、新たなラインナップとして加わった Acrobat Pro Extended (Windows® 版)、Acrobat 9 Pro (Windows 版 /Macintosh® 版) そして Acrobat 9 Standard (Windows 版) から構成されています。Acrobat 9 製品ファミリーの最上位機種である Acrobat 9 Pro Extended には、Adobe Presenter が同梱されたことから、e-ラーニングコンテンツや、Microsoft® PowerPoint プレゼンテーションからマルチメディアを含む PDF ファイルとして簡単に変換することが可能になりました。

アドビ システムズ社のビジネスプロダクティビティ ビジネスユニット担当のシニアバイスプレジデントであるロブ ターコフ (Rob Tarkoff) は、「職場におけるコミュニケーションやコラボレーション改善への取り組みは日々その重要性を増しています。企業や組織が抱える課題を克服して、メッセージをより効果的に伝える方法は、かつてないほどに重要視されています。Adobe Acrobat 9 は、これらの企業や組織、そしてチームが抱える課題に対するソリューションであり、電子文書を用いたコミュニケーションとコラボレーション方法を根本から革新します」と述べています。

株式会社 情報システムエンジニアリング 代表取締役 黒田 聡氏は、「Acrobat 9 では、以前のバージョンよりも Web ページから PDF への変換精度が向上したので、この機能は Web コンテンツのチェック作業にも応用することができます。また、新機能である PDF ポートフォリオは、PDF の活用に新しい可能性を提供します。画面上でページをめくるという PDF の閲覧方法に、“見栄えのよい PDF を楽しみながら閲覧する” という新しい形態の提案につながることができます。Flash コンテンツも Adobe Reader で閲覧できるようになったことで、e-ラーニング教材など動的要素を持ったコンテンツへの展開が期待できます。既存のテンプレートに加えてユーザがカスタマイズした形式を使えるようになっているので、創作物としてのオリジナリティを強化できることも魅力です」と述べています。

大日本印刷株式会社 情報コミュニケーション研究開発センター 副センター長 五味 英隆氏は「当社は、製造業を中心としたお客様に三次元 CG データ (3D) を活用した PDF ドキュメントのソリューションを提供しています。製造業では製品の機能の高度化により、そのコンセプトや機能、使い方をわかりやすく伝達するニーズが高まっています。グローバル化が進む中、海外を含む子会社や関連企業に対しても、同様の課題解決が望まれています。Acrobat 9 Pro Extended では、3D やビデオ、音声を簡単に PDF に取り込めるだけでなく、Adobe Reader さえあれば誰とでも共有できるという点で、グローバル化が進む環境でのコミュニケーション向上に貢献できます。プロジェクトを進める場合には、画像、図面、表計算データなど、様々なフォーマットのドキュメントを交換するケースが多く、その管理が課題になっています。PDF ポートフォリオを活用すれば、さまざまなデータやコメントを直感的に、交換できるようになるため、より効率的にプロジェクト推進が可能になります。広く普及している Acrobat を活用してドキュメントを交換することで、情報コミュニケーションが円滑に進められるものと期待しています」と述べています。

協和発酵工業株式会社 医薬研究開発本部開発推進部 都丸 淳之氏は「有効で安全な医薬品を患者様に提供する社会的使命を担う製薬産業では、医薬品の承認審査に必要な文書数は数百件あり、それらは数万ページに及びます。製薬産業は、文書に依存している産業の代表格であり、日々、多くの証明データを文書として蓄積しています。電子申請の規格で PDF の利用が義務化されていることから、製薬産業は Acrobat に高い信頼感を持ち、絶大な期待があります。医薬品承認後の情報公開資料作成時に一部の情報を恒久的に削除する墨消し機能は非常に有効です。Acrobat 9 でさらに強化されたレビュー機能は特筆に値します。単一

の文書上にチームメンバーが電子的にチェック・コメントでき、参照しあうことができる共有レビューでは、今回から期限を変更したり、レビューを終了できるため、進捗管理を行いやすくなりました」と述べています。

アドビストア提供価格（送料別）

Adobe Acrobat 9 Pro Extended 日本語版（Windows 版）

■ 通常版	89,565 円(本体価格 85,300 円)
■ 特別提供版 / アップグレード版 ^{※1}	29,400 円(本体価格 28,000 円)
■ アカデミック版	29,400 円(本体価格 28,000 円)

※1 特別提供版の対象ユーザは、Acrobat 6.0 Professional、Acrobat 7.0 Professional、Acrobat 8 Professional、Acrobat 9 Pro 日本語版の正規登録ユーザです。アップグレード版の対象ユーザは、Acrobat 3D、Acrobat 3D Version 8 日本語版の正規登録ユーザです。

Adobe Acrobat 9 Pro 日本語版（Windows 版 / Macintosh 版）

■ 通常版	57,540 円(本体価格 54,800 円)
■ 特別提供版 / アップグレード版 ^{※2}	21,735 円(本体価格 20,700 円)
■ アカデミック版	21,735 円(本体価格 20,700 円)

※2 特別提供版の対象ユーザは、Acrobat 6.0 Standard、Acrobat 7.0 Standard、Acrobat 8 Standard、Acrobat 9 Standard 日本語版（Acrobat 8 および 9 は Windows 版のみ）の正規登録ユーザです。アップグレード版の対象ユーザは、Acrobat 6.0 Professional、Acrobat 7.0 Professional、Acrobat 8 Professional 日本語版の正規登録ユーザです。

Adobe Acrobat 9 Standard 日本語版（Windows 版）

■ 通常版	36,540 円(本体価格 34,800 円)
■ アップグレード版 ^{※3}	13,125 円(本体価格 12,500 円)

※3 アップグレード版の対象ユーザは、Acrobat 6.0 Standard、Acrobat 7.0 Standard、Acrobat 8 Standard 日本語版の正規登録ユーザです。

必要システム構成

Adobe Acrobat 9 Pro Extended 日本語版

Windows 版

- 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft® Windows XP (Service Pack 2 または 3、32bit 版および 64bit 版) Home、Professional、Tablet PC Edition 日本語版、Windows Server® 2003 (Service Pack 2、64bit バージョン) 日本語版、Windows Vista® (Service Pack 1 適用または非適用、32bit 版および 64bit 版) Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、または Enterprise 日本語版
- Internet Explorer 6.0
- 512MB 以上の RAM
- 2.06GB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024x768 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- DVD-ROM ドライブ
- ビデオハードウェアアクセラレーション（オプション）

Adobe Acrobat 9 Pro 日本語版

Windows 版

- 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows XP (Service Pack 2 または 3、32bit 版および 64bit 版) Home、Professional、Tablet PC Edition 日本語版、Windows Server 2003 (Service Pack 2、64bit バージョン) 日本語版、Windows Vista (Service Pack 1 適用または非適用、32bit 版および 64bit 版) Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、または Enterprise 日本語版
- Internet Explorer 6.0
- 256MB 以上の RAM (512MB 以上を推奨)
- 1.77GB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024x768 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- DVD-ROM ドライブ
- ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)
- ライセンス認証用にインターネット接続環境

Macintosh 版

- PowerPC® G4、G5、またはインテル® プロセッサ
- Mac OS® X v.10.4.11 または 10.5 日本語版
- 256MB 以上の RAM (512MB 以上を推奨)
- 1.19GB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024 × 768 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- DVD-ROM ドライブ
- ライセンス認証用にインターネット接続環境

Adobe Acrobat 9 Standard 日本語版

Windows 版

- 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows XP (Service Pack 2 または 3、32bit 版および 64bit 版) Home、Professional、Tablet PC Edition 日本語版、Windows Server 2003 (Service Pack 2、64bit バージョン) 日本語版、Windows Vista (Service Pack 1 適用または非適用、32bit 版および 64bit 版) Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、または Enterprise 日本語版
- Internet Explorer 6.0
- 256MB 以上の RAM (512MB 以上を推奨)
- 830MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 1,024 × 768 以上の解像度をサポートするディスプレイ
- DVD-ROM ドライブ
- ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)

Adobe Reader 9 日本語版

Windows 版

- 1.3GHz 以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows 2000 (Service Pack 4)、Windows XP (Service Pack 2 または 3、32bit

版および 64bit 版) Home、Professional、Tablet PC Edition 日本語版、Windows Server 2003 (Service Pack 2、64bit バージョン) 日本語版、Windows Vista (Service Pack 1 適用または非適用、32bit 版および 64bit 版) Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、または Enterprise 日本語版

- 128MB 以上の RAM (256MB 以上を推奨)
- 170MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- ファイルキャッシュ (推奨) 用に追加で 145MB 以上の空き容量が必要
- 800x600 以上の解像度をサポートするディスプレイ (1,024x768 以上を推奨)
- Internet Explorer 6.0, Internet Explorer 7.0, Firefox 1.5, Mozilla 1.7
- ビデオハードウェアアクセラレーション (オプション)
- ライセンス認証用にインターネット接続環境

Macintosh 版

- PowerPC G4、G5、またはインテルプロセッサ
- Mac OS X v.10.4.11 または 10.5 日本語版
- 128MB 以上の RAM (256MB 以上を推奨)
- 200MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- 800x600 以上の解像度をサポートするディスプレイ (1,024x768 以上を推奨)

Acrobat 9 製品ファミリーに関する詳細情報については以下の Web サイトをご参照ください。
<http://www.adobe.com/acrobat>

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。